

【社会人1年目が回答】コロナ禍で、「テレワーク」「在宅勤務」を経験した新入社員は47.3%。

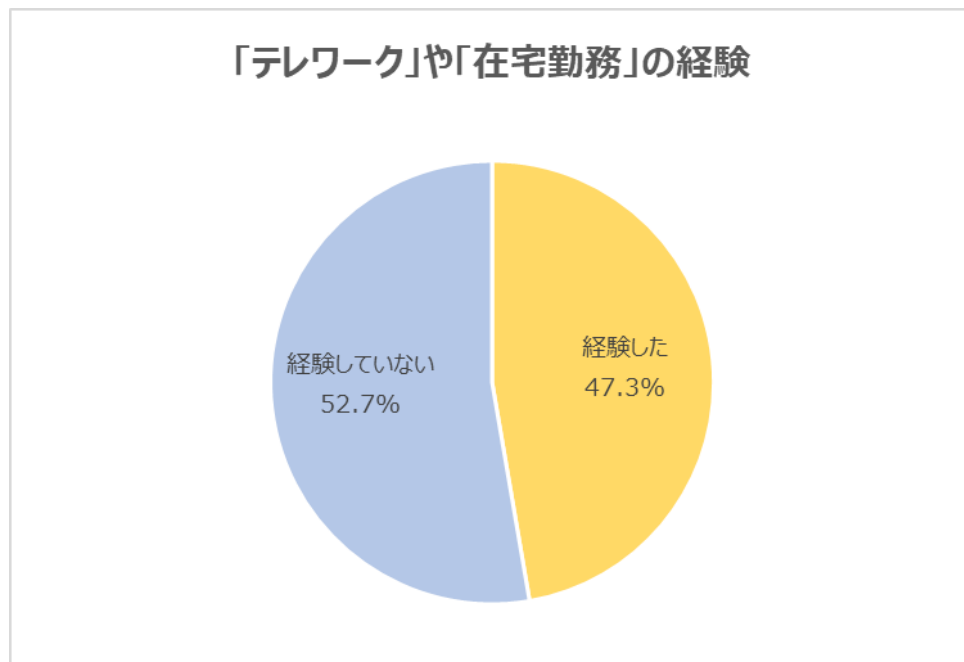
テレワーク経験者の70.0%は「仕事のモチベーションを保ちにくい」と回答。

株式会社学情は、20代の仕事観や転職意識をひも解くために、アンケート調査を実施しました。今回は、2020年4月入社の新入社員（社会人1年目）を対象に調査。新入社員の47.3%が、「『テレワーク』や『在宅勤務』を経験した」と回答。「オンラインで研修を受けたあと、すぐにテレワークで配属になった」といった声も寄せられています。また、テレワークにおける課題として、「モチベーションの維持」が浮き彫りになっています。テレワークを経験した新入社員のうち、「仕事のモチベーションを保ちにくい」と感じている人が70.0%に上りました。「業務以外でコミュニケーションを取る機会がないので、人間関係を築きにくい」「上司に質問するタイミングがつかめず、仕事で分からないことがあっても質問しにくい」などの声が挙がっており、社内でのコミュニケーションが減っていることが、新入社員のモチベーションにも影響をもたらしていることが分かります。

【TOPICS】

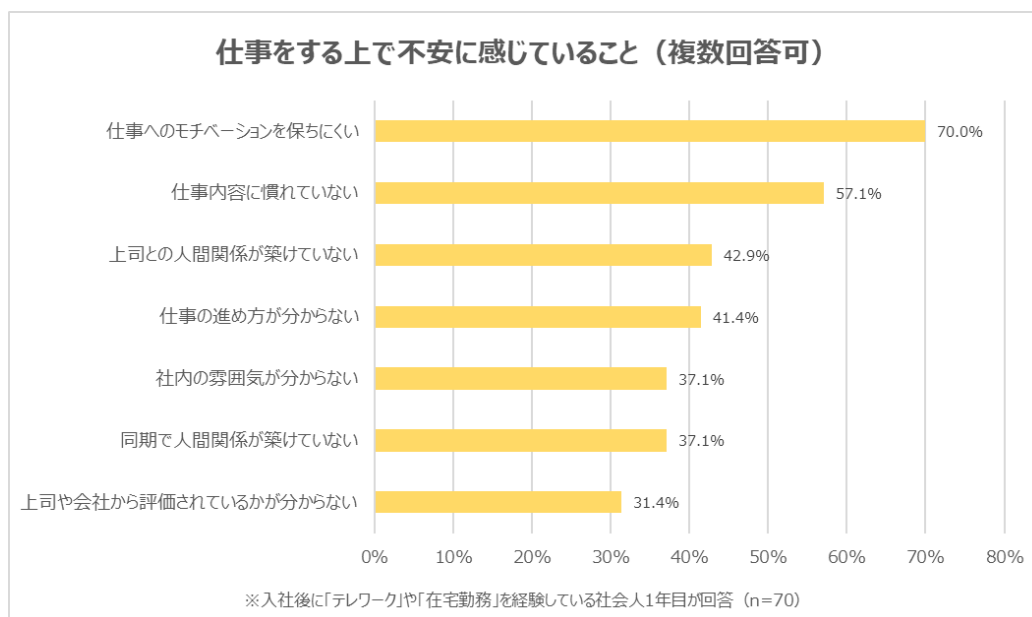
- (1) 「テレワーク」や「在宅勤務」を経験した新入社員が、47.3%
- (2) テレワークでは、モチベーション維持が課題。テレワーク経験者の70.0%は「仕事のモチベーションを保ちにくい」
- (3) 「自宅待機」や「休業」を経験した新入社員は、53.3%

- (1) 「テレワーク」や「在宅勤務」を経験した新入社員が、47.3%



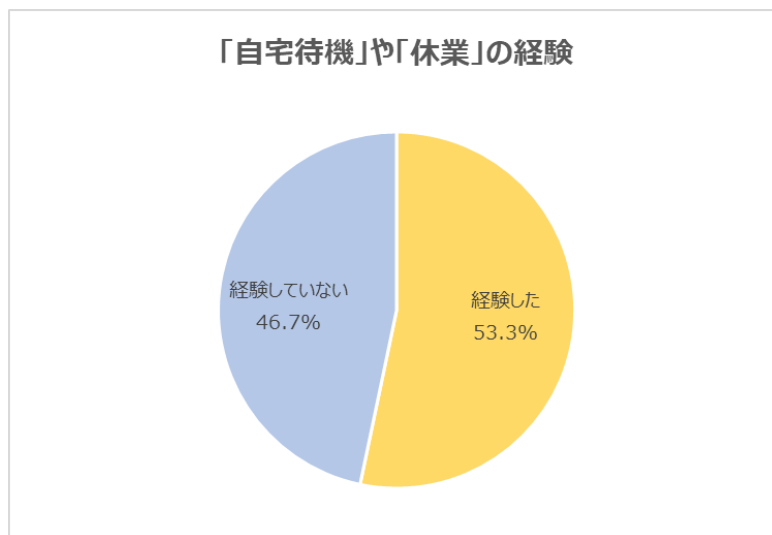
「テレワーク」や「在宅勤務」に関しては、47.3%が「経験した」と回答。新入社員の約半数は、「テレワーク」や「在宅勤務」を経験していることが分かります。「オンラインで研修を受けたあと、すぐにテレワークで配属になった」といった声も挙がっており、入社後すぐにテレワークで勤務している新入社員も一定数いることが伺えます。

(2) テレワークでは、モチベーション維持が課題。テレワーク経験者の70.0%は「仕事のモチベーションを保ちにくい」



テレワークを経験した新入社員のうち、「仕事のモチベーションを保ちにくい」と感じている人が70.0%に上りました。次いで、「仕事内容に慣れていない」57.1%、「上司との人間関係が築けていない」42.9%と続きます。「業務以外でコミュニケーションを取る機会がないので、人間関係を築きにくい」「上司に質問するタイミングがつかめず、仕事で分からないことがあっても質問しにくい」などの声が寄せられました。社員間のコミュニケーションを確保することが難しく、モチベーションの維持や、人間関係の構築に不安を感じている新入社員が多いことが分かります。

(3) 「自宅待機」や「休業」を経験した新入社員は、53.3%



2020年4月に入社した新入社員で、「『自宅待機』や『休業』を経験した」の回答が53.3%となりました。半数以上が、「自宅待機」や「休業」を経験していることが分かります。

■調査概要

- ・調査対象：[20代専門]転職サイト「Re就活」へのサイト来訪者
- ・調査方法：「Re就活」にアクセスしたサイト来訪者に、アンケートのポップアップを表示
- ・調査期間：2020年11月30日～2021年1月20日
- ・有効回答数：148名

東証一部上場

学情

